

5. 東海（地域別調査機関：（株）UFJ総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	高級レストラン （スタッフ）	来客数の動き	・来客数は平日、週末とも回復している。客単価も引き続き上昇している。
	やや良く なっている	一般小売店〔贈 答品〕（経営 者）	来客数の動き	・前年同月に比べ、土曜日、日曜日を中心に来客数が増加している。
		一般小売店〔高 級精肉〕（企画 担当）	販売量の動き	・歳暮商戦の出足が好調である。
		百貨店（企画担 当）	販売量の動き	・先月に引き続き、婦人服、紳士服、コートなど防寒商材の動きが良く、売上は好調である。また、半年ほど低調であった特選輸入ブランドの動きも好転しつつある。様々な商材が幅広く動いており、財布のひもは緩みつつある。
		スーパー（総務 担当）	単価の動き	・来客数が増加し、客単価も2%ほど上昇している。
		コンビニ（エリ ア担当）	単価の動き	・ボージョレーヌーボー等が例年並みに売れていることに加え、DVDや映画チケットの売行きも好調で、客単価が上昇している。ただし、来客数は減少している。
		家電量販店（店 員）	販売量の動き	・プラズマテレビや液晶テレビが非常によく動いているので、客単価も上昇している。
		乗用車販売店 （経営者）	来客数の動き	・来客数は前月より増加している。新規客の割合も上昇している。
		住関連専門店 （営業担当）	販売量の動き	・民間企業の設備投資やアミューズメント施設関連の建設が活発なことに加えて、マンションなど住宅関連も好調である。
		その他飲食〔仕 出し〕（経営 者）	販売量の動き	・11月に入り、各取引先からの注文が均等に増えている。
		都市型ホテル （経営者）	来客数の動き	・愛知万博の閉幕後も堅調な動きを維持している。
		旅行代理店（経 営者）	来客数の動き	・静岡県東部では、愛知万博開催期間中はかなりあおりを受けたが、11月以降は戻ってきている。
		旅行代理店（従 業員）	販売量の動き	・売上、利益とも前年を上回り、目標以上となっている。低額商品、高額商品が特に好調である。
		通信会社（企画 担当）	販売量の動き	・定期的に行っている体験イベント会場での新規契約者数が、ここ数か月では最高となっている。
		テーマパーク （職員）	来客数の動き	・付帯施設である温泉の来客数は、宴会等も含め伸びている。
		ゴルフ場（経営 者）	来客数の動き	・10月以降、急激に客が増えている。
		ゴルフ場（企画 担当）	来客数の動き	・天候にも恵まれ、今月の入場者数は予算、前年とも上回っており、8月の落ち込みと比べれば順調になっている。
変わらない	商店街（代表 者）	販売量の動き	・来客数、客単価とも変わらないが、販売量は減ってきている。また、会社関係で領収書で支払う客が極端に減っている。	
	一般小売店〔生 花〕（経営者）	お客様の様子	・ギフト系の商品を購入する客が徐々に減ってきている。絶対必要な場合を除き、贈答をあまりしなくなっている。	
	一般小売店〔薬 局〕（経営者）	来客数の動き	・地元の東濃地方では地場産業が不況で、消費者は本当に必要な商品、割安商品しか買わない。	
	百貨店（売場主 任）	販売量の動き	・平日の来客数が少ない。また、会社帰りの客がよく立ち寄るが、見るだけで購入する客はあまりない。	
	百貨店（企画担 当）	販売量の動き	・歳暮の早期受注が好調である。また、気温の低下とともにヤング、ミセスの冬物に動きが出てきている。	
	百貨店（外商担 当）	単価の動き	・訪問販売では、以前と比べると購入してくれる客が増えている。ただし、低単価商品が中心で、売上は伸びていない。展示会では、来場者数、売上とも大幅に減少している。	
	スーパー（経営 者）	お客様の様子	・相変わらず大型店のチラシ広告による販売合戦に巻き込まれている。	

スーパー（店長）	単価の動き	・客単価の回復の兆しが一向にみられない。前年比96%前後で推移している。
スーパー（営業担当）	お客様の様子	・来客数、買上点数は増加しているが、客単価が低下しており、既存店の売上はほぼ前年並みである。競争環境が厳しくなっている。
コンビニ（経営者）	販売量の動き	・来客数、販売数量とも、前年同月比で見ると大きな変化はない。最低の水準で落ち着いてきている。今の状態では利益があまり出ず、経営は非常に苦しい。
コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・低単価商品、特売品へ移行する傾向が顕著である。新商品は単価が高くても比較的売れるが、長続きしていない。
コンビニ（エリア担当）	それ以外	・売上は依然として前年割れである。
コンビニ（売場担当）	それ以外	・愛知万博の閉幕後は売上がやや減少しているが、前年比で見ると103%ほどで推移している。
衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・来客数の減少をはじめ、様々な面で厳しい状況が続いている。
衣料品専門店（販売企画担当）	販売量の動き	・どこの衣料店も、少量の注文しか出せないような状況である。
衣料品専門店（企画担当）	販売量の動き	・特別規格品、値下げ品、バーゲン・特価品の売行きが良くない。ただし顧客ニーズに合った企画、商品の動きは良く、全体としては変わらない。ファッション衣料では、低価格傾向は改善されつつある。
家電量販店（経営者）	お客様の様子	・客は相変わらず買物に慎重で、売上は前年比で微減が続いている。
家電量販店（店員）	単価の動き	・街の様子を見ていると人の動きはあるようだが、当店では全体的に値動きは横ばいである。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・当店では目標の販売台数を達成しているが、会社全体では今月もかなり厳しい。また目標台数は達成しているが、販売車種の低単価傾向や大幅値引きにより、1台当たりの利益は低下している。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新型車の発売やボーナス月等を考慮に入れると、今月は盛り上がり欠けている。新型車は、立ち上がりはまずまずであったが効果が弱く、他の既存車に波及するほどではない。
乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・今月に入っても来客数は前年を下回っているが、新型車の発売やボーナス支給時期であることを考慮に入れると、かなり深刻な状況である。ただし、下降傾向だったサービス工場への在庫が増えており、何とか維持している。
自動車備品販売店（経営者）	それ以外	・客単価、来客数とも悪化している。ETCの売行きも鈍く、AV商品、カーナビの買換え需要しかない。異業種への消費にお金が回っているためか、今月も大変厳しい。
一般レストラン（経営者）	単価の動き	・ランチの来客数は伸びているが、低単価の注文が多く、売上の増加につながっていない。
スナック（経営者）	来客数の動き	・今月前半はまずまずであったが、中旬はとて静かで、月末はイベントを実施したため好調と、客の出入りが激しい。
観光型ホテル（スタッフ）	単価の動き	・愛知万博特需があった3か月前と比べると来客数は減少しているが、客単価は逆に10%ほど伸びている。
都市型ホテル（支配人）	販売量の動き	・地元の航空機産業が好調で、海外からの宿泊需要が多い。
都市型ホテル（スタッフ）	単価の動き	・客単価が引き続き安定的に推移している。
都市型ホテル（スタッフ）	単価の動き	・忘年会の件数は例年よりも多いが、単価は低下している。
タクシー運転手	来客数の動き	・2～3年前と比べても、夜の繁華街の人の動きはほとんど変わっていない。客の話でも、多少良くなったという声より、良くなっていないという声の方が多い。
タクシー運転手	お客様の様子	・タクシーを使う人はまだ増えておらず、バス、電車を使い、遅くとも家から迎えに来てもらう客が多い。
通信会社（開発担当）	お客様の様子	・光回線による高速通信サービスの受注量が引き続き好調となっている。

	テーマパーク (総務担当)	来客数の動き	・来客数は伸びておらず、減少傾向が続いている。
	パチンコ店(店 長)	来客数の動き	・来客数は、近隣店舗も含めて減少傾向が続いてい る。
	美顔美容室(経 営者)	来客数の動き	・来客数が少し減っている。
	住宅販売会社 (従業員)	お客様の様子	・アスベスト問題や構造計算の改ざん問題などもあ り、以前よりもマンション建築に慎重な状況がうかが える。
やや悪く なっている	商店街(代表 者)	販売量の動き	・直営店、量販店、駅売店のいずれも、販売量、客単 価とも悪化している。
	一般小売店 [酒](経 営者)	来客数の動き	・平日の人出が予想外に少なく、売上も伸びていな い。週末土日も、来客数はますますだが売上は伸びて いない。年末に向けて客は品定めをしており、この調 子では前年を3%ほど下回りそうである。
	一般小売店[時 計](経 営者)	来客数の動き	・客単価が低い。購買意欲はあまりみられない。
	スーパー(経 営者)	来客数の動き	・食品関係の動きが悪い。
	スーパー(仕入 担当)	来客数の動き	・寒くなり鍋物は良く売れているが、愛知万博閉幕後 は来客数が落ち込んでいる。売上は前年比94%前後を 推移しており厳しさが増している。
	コンビニ(商品 開発担当)	販売量の動き	・新商品の販売動向に改善の兆しが見えない。
	家電量販店(店 員)	販売量の動き	・比較的暖かいため、季節商品の動きが悪い。また灯 油高の影響で、関連製品の売行きは特に悪い。エアコン は例年より多少良いが、補うほどではない。
	乗用車販売店 (経 営者)	販売量の動き	・年末商戦で例年活発な動きのある時期であるが、今 年は動きが鈍く、通常月よりも悪い状況で推移してい る。客層も、今年は独身者以外の動きがよくない。
	乗用車販売店 (従 業員)	販売量の動き	・販売量は若干減少傾向にある。
	乗用車販売店 (従 業員)	お客様の様子	・愛知万博閉幕後は客に元気がない。
	乗用車販売店 (従 業員)	それ以外	・広告販売、ネット販売ともに、価格、客の様子も含 めて全体的に厳しい。客に余裕が感じられない。11月 は年末に向けてもう少し良いはずなのに、今年はあま り良くない。
	その他専門店 [貴金属](店 長)	単価の動き	・高額商品はある程度売れるが、今まで売っていた4 ~5万円の商品が売れず、客単価が下がっている。
	その他小売[水 産物卸売](経 理担当)	販売量の動き	・荷動きの状態は依然として鈍い。散発的で、継続的 な動きになっていない。
	スナック(経 営者)	来客数の動き	・例年11月は20日ごろを過ぎると忘年会などの予約も 入ってくるが、今年は動きが鈍い。人出も思ったより 少なく、売上は伸びていない。
	旅行代理店(従 業員)	来客数の動き	・愛知万博の閉幕後は一泊旅行が増えると期待してい たが、思ったより増えていない。
	タクシー運転手	お客様の様子	・愛知万博の開催期間中は、名古屋駅やホテルの客の 他、市内の一般客も多く大変忙しかったが、それと比 較すると一日の売上は平均で2000~3000円減少してい る。
	美容室(経 営者)	競争相手の様子	・当店ばかりでなく、他店に聞いてみても、売上は減 少している。
	美容室(経 営者)	お客様の様子	・相変わらず、客の回転は悪い。
	理美容室(経 営者)	来客数の動き	・来店周期がだんだん長くなってきている。
	その他サービス [介護サー ビス](職 員)	単価の動き	・介護保険福祉用具のレンタル単価は、引き続き下落 している。
住宅販売会社 (従 業員)	来客数の動き	・観光地へ足を運ぶ人が多いためか、住宅展示場への 来場は極端に減っている。	

		住宅販売会社 (従業員)	お客様の様子	・プレハブメーカーなので構造計算改ざん問題とは関係ないが、それよりも景気回復で今後金利が上昇するのではないかと不安を持つ人が多く、契約件数は多少減っている。	
	悪く なっている	一般レストラン (経営者)	お客様の様子	・常連客の来店回数が減っているうえに、客単価も低下している。	
		美容室(経営者)	お客様の様子	・客の来店周期が変化している。今までは月に1回の人が2か月に1回になるなど、間隔が長くなっている。	
企業 動向 関連	良く なっている	化学工業(人事担当)	受注価格や販売価格の動き	・受注量、販売量とも堅調に推移している。	
		窯業・土石製品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・荷動きが活発になっており、売上で18.8%、経常利益で44%の増収増益となっている。	
	やや良く なっている	パルプ・紙・紙加工品製造業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・自動車関連の主要取引先がやや好調であり、受注量、販売量とも5～6%増加している。	
		出版・印刷・同関連産業(経営者)	取引先の様子	・広告費には慎重な客が多いが、広告予算の拡大を予定する取引先も増加してきており、客単価、広告件数とも伸びている。	
		一般機械器具製造業(経理担当)	受注量や販売量の動き	・下期の受注量は、計画通り確保できる見込みである。金融機関からの借入債務を段階的に繰上返済し、金融費用の削減に努力している。	
		電気機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・原材料や燃料の価格高騰分の製品価格への転嫁はできていないが、受注量、販売量はまだまだ増加しており、フル稼働状態が続いている。	
		電気機械器具製造業(企画担当)	受注量や販売量の動き	・愛知万博閉幕後は腰折れ感が出るのではと思っていたが、売行きは悪くない。	
		輸送業(エリア担当)	受注量や販売量の動き	・年末年始に向けて貨物量は増加している。中部国際空港を利用した貨物も徐々に増加している。	
		金融業(企画担当)	取引先の様子	・工作機械を中心に販売は好調である。輸出入を中心に物の動きは活発になってきている。	
		企業広告制作業(経営者)	取引先の様子	・取引先の広告代理店でも、売上は前年を上回っている。	
		経営コンサルタント	それ以外	・一般の宅地分譲は値下がりが続いているが、業種によってはどんどん伸びている。	
		その他サービス業[ソフト開発](社員)	取引先の様子	・開発費の単価を平均以上につり上げるなど、強気の交渉も可能な状況である。	
		その他非製造業[ソフト開発](経営者)	受注量や販売量の動き	・設備投資意欲は、各企業とも引き続き高い。各社ともフル稼働で新規の仕事を受けられず、逆に仕事量をもう少し減らしたいほどである。営業活動をすれば、すぐに手一杯となる。ただし、仕事量が多くても利益は出ない場合もある。	
		変わらない	紙加工品[段ボール]製造業(経営者)	取引先の様子	・取引先製造業の海外移転に伴い、徐々に厳しい状況になりつつある。
			一般機械器具製造業(販売担当)	受注量や販売量の動き	・相変わらず高水準の受注が続いており、生産能力を超える注文が入っている。しかし、原材料費の値上がりは続いており、利益率は悪くなっている。
			電気機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・国内販売、海外販売ともやや減少しているが、大きな変化はない。
		輸送用機械器具製造業(統括)	受注価格や販売価格の動き	・主力取引先が再建中で、もうしばらく時間がかかる。	
		輸送業(エリア担当)	受注量や販売量の動き	・荷物量は前年同月を上回っている。しかし、受注価格は横ばいないし低下傾向である。	
		輸送業(エリア担当)	受注価格や販売価格の動き	・トラックへの貨物の積み込み台数は増えているが、運賃の見直しがされていない。一方で、燃料の軽油代金は高止まりしている。	
		広告代理店(経営者)	取引先の様子	・名古屋地域を中心に、受注量は増加している。	
		広告代理店(制作担当)	取引先の様子	・求人広告等の依頼は少しずつ増えているが、定期広告の中止などがある。	

		公認会計士	それ以外	・顧問先企業の決算内容は、自動車関連以外では依然として厳しい。原油、原材料費の高騰が業績回復の障害になっている。自動車関連以外の業種では、新規の設備投資等もまだまだ見られない。
		会計事務所（職員）	取引先の様子	・飲食店などでは来客数が漸増しているようだが、低単価である。家庭用灯油、燃料用軽油、重油の高騰で、温室みかん業者など関係事業者では経費増が負担となっている。
やや悪くなっている		窯業・土石製造業（社員）	受注価格や販売価格の動き	・原材料価格の上昇の影響が、相変わらず大きい。製品価格の値上げ交渉は進まず、利益が圧迫されている。
		鉄鋼業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量が減少している。また、年末の駆け込み需要や受注残も非常に少ない。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・得意先の受注量が減少しているため、効率が悪化しており、利益が伴わない状況である。
		建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・客の様子を見ていると、景気が良くて規模を大きくするための建築ではなく、必要最小限の改装、改造工事が多い。そのため、単価もかなり絞られる。
		輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・当社の貨物は日用品をはじめとする商業物流や工業製品が中心であり、例年11月は荷物量が多く繁忙期であるが、今年は前年実績を大きく下回り、繁忙と言える日がない。
悪くなっている		金属製品製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・原材料価格が高止まりしているが、販売価格への転嫁ができない状態が続いている。
		金属製品製造業（従業員）	取引先の様子	・見積等の引き合いが少ないうえ、取引先の信用不安の話もよく聞かれる。
雇用関連	良くなっている	学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・各業種の求人数は、サービス業の36%増をはじめ、不動産業、製造業、建設業、金融業、保険業、卸小売業で30%弱の増加となっている。
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・自動車関連の求人依頼が活発である。募集をかけても必要とする人材が集まらず、ニーズに応じきれない状況にある。
		人材派遣会社（営業担当）	求職者数の動き	・人材派遣に対する求人数は増加している。
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	求人数の動き	・製造業を中心に正社員求人が活発であるが、依然として求職者が集まりにくい状態が続いている。パート等の軽雇用も、時給を上げないと集まりにくくなっている。売手市場となっている。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・新規求職者のうち、事業主都合での退職者は4か月連続で前年比2けた台の減少となっている。一方、在職中に求職活動を行う者が12か月連続で増加しており、特にここ3か月は20～30%の増加となっている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数は前年比で連続して増加している。ただし、求人の質は良くなっておらず、靴製造等の地場産業ではたびたびリストラもある。
		民間職業紹介機関（職員）	求人数の動き	・求人数は3か月前と同数で、非常に高い水準で推移している。
	変わらない	人材派遣業（経営企画）	雇用形態の様子	・企業では開発案件が多く、技術者ニーズは前月同様高い。
		人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・毎年年末に向けては派遣依頼が増える傾向にあるが、今年は例年にみられるような増加はない。
		人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・愛知万博閉幕後も引き続き派遣スタッフ不足は解消されておらず、派遣需要が過多である。
職業安定所（所長）		周辺企業の様子	・一部の大手企業では中途採用の求人増加がみられ、活発に求人活動をしている。しかし、10～20人の小規模事業所では事業閉鎖が数件あるなど厳しい状況が続いている。	
職業安定所（職員）		周辺企業の様子	・業績好調の企業がある一方、自己破産申請する零細事業所も増加しており、求人環境は相変わらずである。	
民間職業紹介機関（経営者）		求職者数の動き	・転職者数の伸びは鈍化しているものの、前年比20%以上で推移している。	
やや悪くなっている	職業安定所（管理部門担当）	雇用形態の様子	・有効求人倍率は前月を0.04ポイント下回っており、年末に向けての求人は控えめである。また、依然として派遣求人が多い。	

悪く なっている	-	-	-
-------------	---	---	---